

STANDARD HORIZON

Nothing takes to water like Standard Horizon

Floating Transceiver HX751JLシリーズ 取扱説明書

HX751JL
[ブラック]



HX751JL B
[マリンブルー]



**この製品は、船舶共通通信システム 国際VHF無線機です。
ご使用になるには、第三級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。**

当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
正しくお使いいただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

目次

| | |
|-------------------------------|----|
| 特長 | 3 |
| 国際VHF無線局を開局される皆様へ | 4 |
| 操作早見表 | 5 |
| リセット操作 | 5 |
| 各部の名称と働き | 6 |
| ディスプレイ表示 | 7 |
| 安全上のご注意 | 8 |
| お使いになる前に(準備) | 10 |
| ベルトフックの取り付け/取り外し | 10 |
| 電池/パックの取り付け/取り外し | 10 |
| アンテナの取り付け/取り外し | 11 |
| ボトムカバーの取り付け(マリンブルー仕様のみ) | 11 |
| 電池/パックの充電 | 12 |
| 使いかた | 14 |
| 基本操作 | 14 |
| キーロック操作 | 15 |
| 送信出力の切り替え | 15 |
| その他の機能と操作 | 16 |
| プリセットチャンネル | 16 |
| スキャン操作 | 18 |
| 2波受信 | 19 |
| ランプ/ストップ機能 | 20 |
| 温度計の使いかた | 20 |
| トーンコントロール機能 | 21 |
| セットメニュー操作 | 22 |
| 付属品・オプション | 24 |
| 乾電池ケース(FBA-38) | 25 |
| 定格 | 26 |

- 国際VHF規格 総務省技術適合証明取得機種
- 国際VHFで使われる全てのチャンネルをカバー：緊急連絡用チャンネルの“チャンネル16”，“チャンネル9”を含む、国際VHFに割り当てられている全てのチャンネルを使用することができます。
- 送信出力5W：長時間の連続送信においても安定した送信出力を確保します。送信出力は【H/L】キーで簡単にハイパワー“5W”からローパワー（“4W”，“2.5W”，または“1W”）に変えることができます。相手が近くにいる時はローパワーにしてバッテリーの運用時間を延ばすことができます。
- 防水フロートイングトランシーバー：水上に落ちとしても安心な防水型フロートイングハンドエイトランシーバーです（IPX7：1m, 30分）。
- エルゴノミックデザイン：手袋をしていてもフィット感のあるエルゴノミックデザインに大型の操作キーを採用していますから、悪天候の船上でも操作性は抜群です。
- LED照明付大型ディスプレイ：LED照明付きの大型液晶ディスプレイを採用しました。夜間でも瞬時に動作状態を確認することができます。
- E20対応：新しく採用したイージー・ツー・オペレート(Easy 2 Operate)に対応していますので、操作がとても簡単です。
- プリセットメモリー：簡単な操作で連絡用チャンネルのメモリー呼び出しができる、プリセット型の10チャンネルのメモリーチャンネルを採用しました。
- 緊急連絡用チャンネルキー：緊急時、瞬時に緊急連絡用チャンネルの“チャンネル16”，“チャンネル9”にアクセスすることができる専用キーを中央に配置しました。
- 大音量700mWスピーカー採用：大音量のスピーカーを採用していますから、航行中の船上でも十分な音量で聞くことができます。
- トーンコントロール回路：好みに合わせて受信音質を変えることができます。特にエンジン音の大きいような場所では、トーンコントロール回路により低音をカットすることで、了解度をあげることができる実用的な機能です。
- 2波受信機能：仲間との連絡用チャンネルと非常用の緊急チャンネルを自動で交互にチェックすることができます。緊急チャンネルと連絡用チャンネルの両方に信号が入った時は緊急チャンネルを優先して受信します。
- 大容量リチウムイオンバッテリー：1150mAhのリチウムイオン電池を採用し、通信機メーカーとして培った優れた高周波回路設計技術によって、一回の充電で長時間の運用を可能にしています。長距離のクルージングにも安心して使用できます。また非常時にアルカリ電池で使用することができる、アルカリ乾電池ケースをオプションで用意しています。
- 高輝度長残光性蓄光顔料を採用した防水/パッキン：フロントパネルとリアパネルの間の防水/パッキンに高輝度長残光性蓄光顔料を調合しました。夜間にトランシーバーの位置がわかるのでとても便利です。（高輝度長残光性蓄光顔料は光の種類、照射時間によって残留発光時間が大きく変わります。もっとも効果のある場合、視認できる時間は約1時間程度です。）
- 高輝度白色LED：高輝度白色LEDを採用しました。通常時の送信/受信表示のほか、高輝度白色LEDを利用して夜間にペンライトの代わりとして使用することもでき、たいへん便利です。
- 簡易型温度計：本体に簡易型の温度計を内蔵しています。防水型ですのでトランシーバーを水中にしばらく入れておけば周囲のたいの水温を把握することができます。（温度計の表示はトランシーバー自体の温度や他の要因により、正しく表示できない場合があります。実際にご使用になる際には十分にご注意ください。）

国際VHF無線局を開局される皆様へ

八重洲無線の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機をお使いになる前に、下記の注意事項をお読みください。

■ 無線技士の資格が必要です。

この製品をご使用になるには、第三級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。

■ 無線局を開局するためには電波法に基づいた手続きが必要です。

無線申請用紙に必要事項を記入のうえ、国の収入印紙(県の収入印紙は認められません)を添付し、主たる停泊港を管轄している総務省地方総合通信局(沖縄の場合は沖縄総合通信事務所)へ申請書を提出してください。審査に合格すると免許状および申請書の写しが返送されてきますので、免許状が届いてから運用を開始してください。

無線局の免許を受けずに無線局を運用した場合は、懲役1年以内、罰金100万円以下の処せられる場合があります。

■ 運用マナーを守って運用してください。

国際VHFはアマチュア無線や携帯電話と違い、遭難通信などの重要な通信を行うものです。また、我が国では、旅客船の定期運行通信、貨物運行などの業務通信、港の施設との航行安全の情報交換等、とても大切な通信も含まれます。運用ルールを守り、私用での通信は絶対に止めましょう。

私用通信により遭難等の通信を妨害した場合、懲役1年以上の有期懲役に処せられる場合があります。

操作早見表

下図の丸数字の番号順に従って操作すると、基本的な運用が行えます。



リセット操作

【プリセットメモリーをすべて消去する】

プリセットメモリーに登録したチャンネルを、一度にすべて消去することができます。

1. 【電源】ボタンを押して、一度電源を“OFF”にします。
2. 【プリセット】ボタンを押しながら【電源】ボタンを押して電源を“ON”にします。

【お買い上げ時の状態に戻す】

操作がわからなくなってしまうたり、おかしな動作をするようなときは、下記の操作を行うことにより、すべての設定状態をクリアして、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

1. 【電源】ボタンを押して、一度電源を“OFF”にします。
2. 【スキャン(2波)】ボタンと【16/9】ボタンを押しながら【電源】ボタンを押して電源を“ON”にします。

各部の名称と働き

【音量調節ボタン】

このボタンを押したあと、
[▼]/[▲]ボタンで受信音
量を調整することができ
るようになります。

【▼]/[▲]

- チャンネルを選びます。
- 音量を調整します。
- スケルチレベルを調整し
ます。

【送信ボタン】

送受信を切り替えるボタ
ンです。
相手に話しかけるときは
、このボタンを押しながら
マイクに向かって話しま
す。
相手の話を聞くとときは
、このボタンを放します。

【スケルチボタン】

このボタンを押したあと
、[▼]/[▲]ボタンでスケ
ルチレベルの調整ができ
るようになります。

【送信出力切替ボタン】

【キーロックボタン】

- 短く押すと、送信する電
波の強さが4段階で切り
替わります。
- 長く押すと、すべてのス
イッチがロックされ、動
作しなくなります(音量
調節、スケルチ調節、ラ
イト操作、送信操作を除く)。

【スキャンボタン】

【2波ボタン】

- 短く押すと、スキャン※
1が始まります。
- 長く押すと、2波受信※
2が始まります。

【ライトボタン】

押すたびに、照明ランプ
が“点灯” / “消灯”を
繰り返します。

【クリアボタン】

【ストロボボタン】

- 各種の操作をキャンセル
するとき、短く押します。
- 長く押すと、LED ランプ
が白く点灯し、照明ラン
プとして使用できます。

【電源ボタン】

長押しするたびに、電源
が“ON” / “OFF”します。

【プリセットボタン】

- 短く押すと、プリセット
チャンネルを呼び出すこ
とができます。
- 長く押すと、プリセット
チャンネルの“登録” /
“解除”が行えます。

【16/9 ボタン】

- 短く押すと、緊急連絡
用チャンネル“CH16”を
呼び出すことができます。
- 長く押すと、呼び出し用
チャンネル“CH9”を呼
び出すことができます。

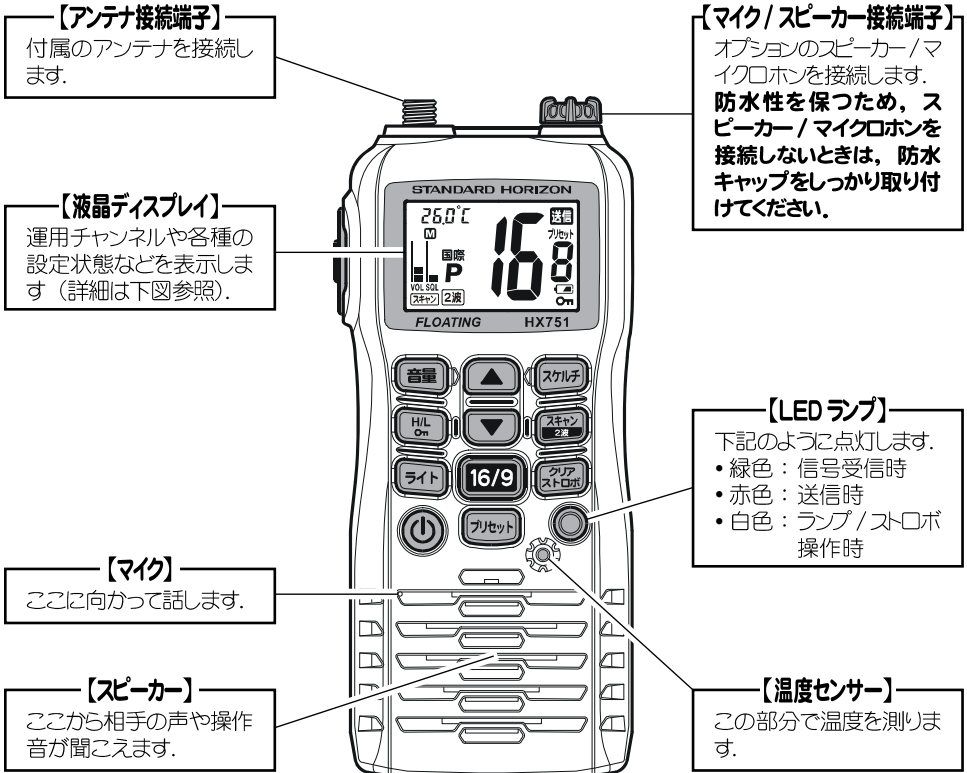
スキャン:

あらかじめメモリー(プリセット)したチャンネルを順番に受信し、信号の入感するチャンネルを自動的に探し出す操作です。メモリー(プリセット)できるチャンネルは最大10チャンネルです。

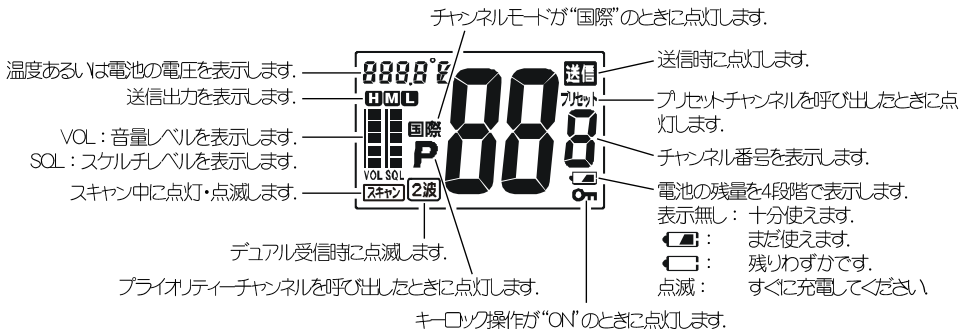
デュアル受信:

現在受信しているチャンネルと、あらかじめ設定したチャンネル(プライオリティーチャンネル)を交互に受信する操作です。信号を受信すると、その信号を受信し続けます。

各部の名称と働き



ディスプレイ表示






安全上のご注意 (必ずお読みください)





本機を安全に正しくお使いいただくために、必ずお読みください。

お客様または第三者の方が、この製品の誤使用・使用中に生じた故障・その他の不具合、あるいはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上、賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

マークの種類と意味

- | | |
|--|--|
|  危険 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。 |
|  警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的障害のみの発生が想定される内容を示しています。 |



図記号の種類と意味

- | | |
|--|---|
|  本機を安全にお使いになるため、行ってはならない禁止事項です。 たとえば、  は「分解禁止」を示しています。 |  本機を安全にお使いになるため、必ず守っていただきたい注意事項です。 たとえば、  は「電源プラグを外す」を示しています。 |
|--|---|








⚠ 危険

- | | |
|---|--|
|  当社指定以外の充電器で充電しない。 火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。 |  電池の漏液が皮膚に付着したり、目に入ると危険。 化学火傷を起こす恐れがあります。直ちに医者の診断を受けてください。 |
|---|--|

⚠ 警告

- | | |
|--|--|
|  分解や改造をしない。 本機は電波法に基づく無線局です。分解や改造をすると違法ですとおやめください。また、怪我や故障の原因になります。 |  ベルトクリップの取り付けは確実に行ってください。 間違った取り付けかたは、落下によるケガや本体の破損などの原因になります。 |
|--|--|

⚠ 注意

- | | |
|---|---|
|  引火性のガスが発生する場所で充電しない。 発火事故の原因になることがあります。 |  強い衝撃を加えたり、投げつけたりしない。 故障の原因になります。 |
|  磁気カードなどを本機に近づけない。 キャッシュカードやフロッピーディスクなどの内容が消去されることがあります。 |  直射日光のあたる場所や熱器具の近くに放置しない。 変形や変色等の原因になります。 |
|  シンナーやベンジンでケースを拭かない。 変形や変色等の原因になります。 ケースが汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。 |  充電器を使用しないときは、プラグをコンセントから抜く。 |
| |  お子様の手の届かない場所に保管する。 ケガなどの原因になります。 |

安全上のご注意 (必ずお読みください)

防水 IPX7 (IBJIS保護等級7種防浸形) 相当について

本機の防水性能は、付属のアンテナと電池パックを正しく取り付け、さらにマイク/スピーカー接続端子の防水キャップをしっかりと取り付けた状態で、水深1mの水没に30分間耐えることができます。

この防水性能を末永く確保していただくために、必ずご使用になる前に下記の項目をご確認ください。

- ◎ キズ、劣化、汚れなどの確認
各スイッチのラバー、マイク/スピーカー接続端子の防水キャップ、電池パック接合部分。
- ◎ お手入れのしかた
海水・砂・泥などがついたときは、やや弱めの水流の真水で洗い流し、すぐに乾いた布で拭き取ってください。
- ◎ オーバーホールのお奨め
お買い上げから1年経過した後、オーバーホールを行って1年経過した後、あるいは、各ボタンのラバーやマイク/スピーカー接続端子の防水キャップにキズや劣化等が確認されたときはオーバーホールをお奨めします。なお、オーバーホール代金は有償となりますのであらかじめご承知ください。
- ◎ その他の注意
水中では使用できません。

温度センサーについて

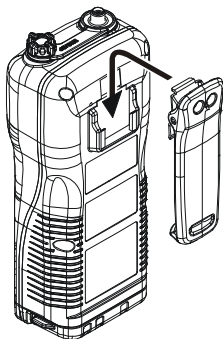
本機に内蔵されている温度センサーは、本格的な測定を目的として製造されたものではありません。測定した値は、あくまで目安値としてご使用ください。

お使いになる前に (準備)

ベルトクリップの取り付け / 取り外し


取り付け

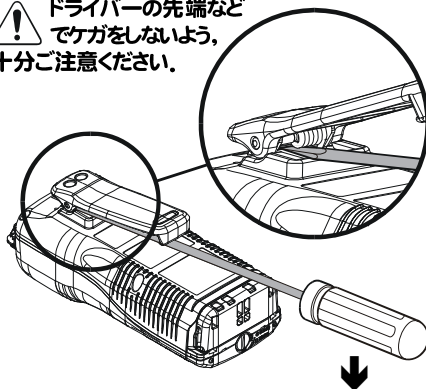
付属のベルトクリップを無線機背面の溝に差し込み、「カッチ」と音がするまでスライドさせます。



外しかた

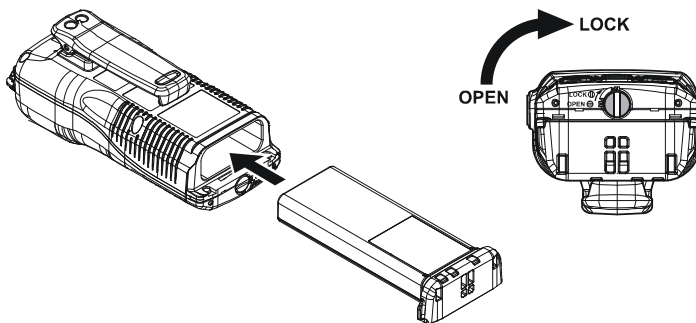
ベルトクリップの根元にマイナスドライバーを差し込み、ドライバーを矢印の方向に押し付けながらベルトクリップを上方にスライドさせて取り外します。

 **ドライバーの先端などでケガをしないよう、十分ご注意ください。**



電池パックの取り付け / 取り外し

- 付属の電池/パック「FNB-V99LI」を無線機底面の電池/パック取り付け穴に差し込み、無線機底面にあるロックつまみをコイン等を利用して右回りに「LOCK」の位置までまわします。
- 電池/パックを無線機から取り外すときは、まず初めに無線機の電源が「OFF」になっていることを確認してください。次に、コイン等を利用してロックつまみを左回りに「OPEN」の位置までまわし、電池/パックを無線機本体から抜き取ります。



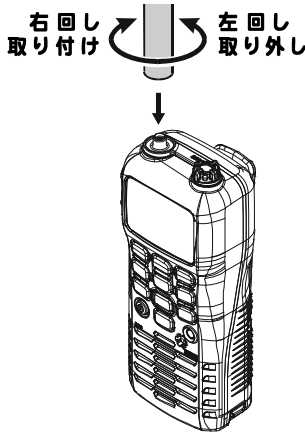
ご注意

電池の落下を防ぐため、また電池/パックの接触不良を防止するためにも、ロックつまみは必ず「LOCK」の位置で使用してください。

お使いになる前に (準備)

アンテナの取り付け / 取り外し

- アンテナ下側の太い部分を持って、右回りにまわして取り付けます。
- アンテナを取り外すときは、アンテナ下側の太い部分を持って、左回りにまわして取り外します。



ご注意

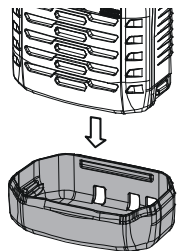
- **アンテナを取り付けない状態では送信しないでください。** 無線機が壊れる場合があります。
- アンテナの取り付け・取り外し時には、アンテナの上部を持ってまわさないでください。アンテナが壊れる場合があります。

ボトムカバーの取り付け (マリンブルー仕様のみ)

マリンブルー仕様の製品には、無線機底面に取り付けるボトムカバーが付属しています。

右図を参考に、無線機底面に取り付けてください。ボトムカバーはシリコン製で柔軟性がありますので、取付後、無線機本体にきっちりと合うよう、微調整してください。

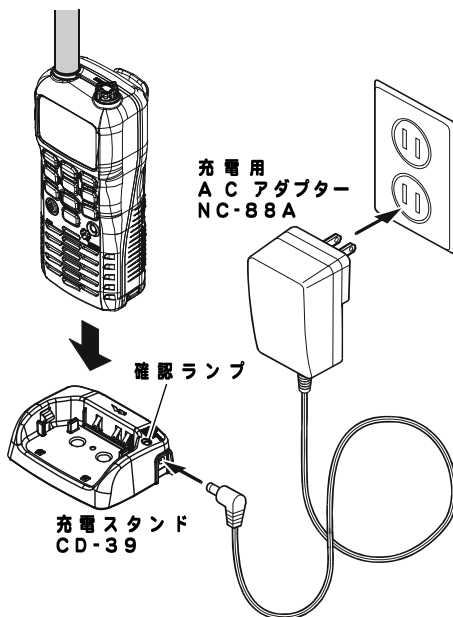
なお、ボトムカバーを取り付けた状態では充電することができませんので、充電する際は、ボトムカバーは無線機本体から外してください。



お使いになる前に (準備)

電池パックの充電 (約 8 時間充電)


1. 充電用ACアダプター「NC-88A」のプラグを充電スタンド「CD-39」のジャックに差し込み、充電用ACアダプターをAC100Vのコンセントに差し込みます。
2. 無線機の電源が“OFF”になっていることを確認し、無線機を充電スタンドに取り付けます。
3. 正しく無線機が充電スタンドに取り付けられると、充電スタンドの確認ランプが赤く点灯して充電を開始します。充電は約 8 時間で終了します。
4. 充電が終わると、充電スタンドの確認ランプが緑色の点灯に変わります。
5. 充電が終了しましたら、無線機を充電スタンドから外すとともに、充電用ACアダプターをコンセントから外します。




ご注意


- 充電は、必ず無線機の電源を“OFF”してから行ってください。
- 電池パックは消耗品です。充放電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。なお、正しい使いかたで約300回充放電することができます。
- 10時間経過しても充電が終了しない場合は、電池の劣化が考えられます。電池パックを交換して再度充電を行ってください。電池パックを交換しても正しく充電できないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。


電池残量表示について

本機は、電池残量を4段階で表示します。“”表示が点滅したら、すぐに充電してください。

表示無し：十分使えます。

：まだ使えます。

：残りわずかです。

 (点滅)：すぐに充電してください。

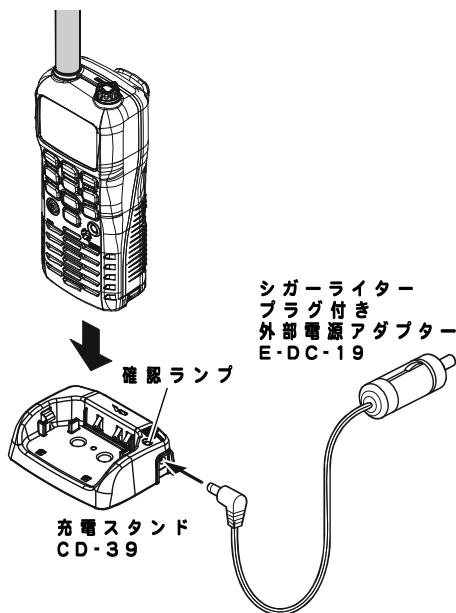


お使いになる前に (準備)

電池パックの充電 (つづき)

お車のバッテリーから充電するときは、充電用ACアダプター「NC-88A」の代わりに付属のシガーライタープラグ付き外部電源アダプター「E-DC-19A」を充電スタンド「CD-39」のジャックに差し込み、お車のシガーライターから電源を取ります。

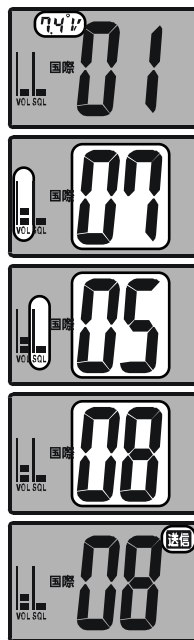
『充電方法』、『充電時間』、『充電時の注意事項』などは、充電用ACアダプター「NC-88A」をお使いになったときと同じです。
ただし、使用できるお車は、バッテリーが12Vの車に限ります。



使いかた

基本操作

1. **【電源】**ボタンを長押しして、電源を“ON”にします。
ディスプレイの左上に、電池の電圧を約 1 秒間表示します。
2. **【音量調節】**ボタンを押した後**【▼】**/**【▲】**ボタンを押して、聞きやすい音量に調節します。
3. **【スケルチ調節】**ボタンを押した後**【▼】**/**【▲】**ボタンを押して、“ザー”という雑音が消えるように調節します。
4. **【▼】**/**【▲】**ボタンを押して希望のチャンネルを選びます。
信号を受信すると、本体前面にあるLEDランプが緑色に点灯します。
5. **【送信(PTT)】**ボタンを押しながらマイクに向かって話します。
【送信(PTT)】ボタンを離すと、相手の話を聞くことができます。
送信中はディスプレイの右上に「送信」の表示が点灯するとともに、LEDランプが赤色に点灯します。
6. もう一度**【電源】**ボタンを長押しすると、本機の電源が切れます。



ご注意

連続して送信できる時間は最大5分です。5分間連続して送信し続けると、送信が自動的に停止する10秒前に警告のブザーが鳴り、その後自動的に送信が停止します。

自動的に送信が停止したときは一度**【送信(PTT)】**ボタンを離し、10秒ほど経ってから再度**【送信(PTT)】**ボタンを押して送信してください(自動的に送信が停止したときは、送信停止後約10秒間**【送信(PTT)】**ボタンの操作を受け付けなくなります)。

キーロック操作

誤ってボタンに触れても、チャンネルなどが変わらないようにすることができます。

ディスプレイの右下に「**On**」の表示が点灯するまで【H/L(**On**)】ボタンを押し続けます。



【▼】/【▲】ボタンなどを押しても、チャンネルは変わりません。

もう一度【H/L(**On**)】ボタンを押し続けると、「**On**」表示が消えてロックは解除されます。

メモ

- キーロック操作中でも、音量調整、スケルチ調整、ライト操作、送信出力の切り替え、送信操作は行えます。また、電源を“OFF”にすることもできます。
- キーロック操作は、電源を切っても保持されます。

送信出力の切り替え

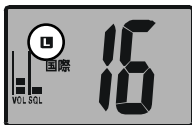
送信出力(電波の強さ)を4段階で切り替えることができます。運用規則に則り、設定してください。

【H/L(**On**)】ボタンを押すたびに、送信出力が

1W → 2.5W → 4W → 5W → 1W……

と順番に切り替わります。なお、この設定は、電源を切っても保持されます

設定した送信出力に合わせて、ディスプレイに(L (1W) / M (2.5W) / H (4W) / 無表示 (5W))のアイコンが点灯します。



送信出力“1W”
(Lが点灯)



送信出力“2.5W”
(Mが点灯)



送信出力“4W”
(Hが点灯)



送信出力“5W”
(無表示)

ご注意

- 電池を長持ちさせるため、必要最低限の出力で送信することをお勧めします。
- チャンネル“CH15”、“CH17”、“CH75”、“CH76”では、送信出力は自動的に“1W”に設定されます。
- チャンネル“CH16”では、送信出力を変更しても、次に呼び出したときは自動的に“5W”に設定されます。

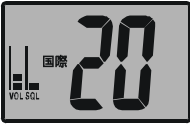

その他の機能と操作

プリセットチャンネル

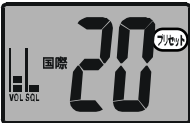
よく使うチャンネルを、最大10個までメモリー(プリセット)して使うことができます。

プリセットチャンネルを使うと、普段よく使うチャンネルをすばやく呼び出すことができます。

プリセットチャンネルの設定方法


1. 【▼】/【▲】ボタンを押して、メモリー(プリセット)したいチャンネルを呼び出します。
2. チャンネル表示の右側に“0”の表示が点灯するまで【プリセット】ボタンを押し続けます
これで、表示されているチャンネルが“プリセット0”にメモリー(プリセット)されました。
3. 続けて他のチャンネルもメモリー(プリセット)する場合は、上記の操作 1. と 2. を繰り返します(最大10チャンネルまでメモリーできます)。
メモリー(プリセット)するたびに、表示されるプリセットチャンネル番号が
“0” → “1” → “2” → “3” → “4” → “5” → “6” → “7” → “8” → “9”
と順番に変わっていきます。

プリセットチャンネルの使いかた

- 【プリセット】ボタンを押すたびに、プリセットチャンネルが順番に呼び出されます。
チャンネル表示の右上に「プリセット」のアイコンが点灯するとともに、プリセットチャンネル番号を約1秒間表示します。

プリセットしたすべてのチャンネルを呼び出した後、さらに【プリセット】ボタンを押すと、“プリセットチャンネルを呼び出す前に使用していたチャンネル”が呼び出されます。

さらに【プリセット】ボタンを押すと、再びプリセットチャンネルが順番に呼び出されます。

- プリセットチャンネルを使用しているときに【▼】/【▲】ボタンを押すと、現在表示しているプリセットチャンネルの上(【▲】ボタンを押したとき)または下(【▼】ボタンを押したとき)のチャンネルが表示されます。

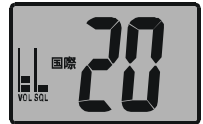
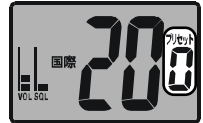
その他の機能と操作

プリセットチャンネル (つづき)

プリセットチャンネルの消しかた

プリセットチャンネルは以下の方法で消すことができます。

1. **【プリセット】**ボタンを押して、消したいプリセットチャンネルを呼び出します。
注意:プリセットチャンネル番号は、チャンネル呼び出し時約 1 秒間だけ点灯します。
2. **【プリセット】**ボタンを押し続けると、「**プリセット**」のアイコンが消えて、消去完了です。



その他の機能と操作

スキャン操作

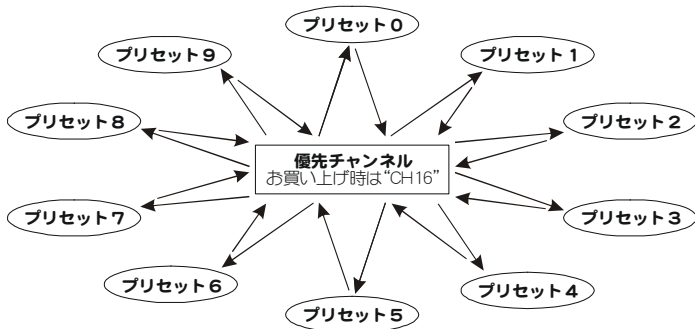
プリセットチャンネルを自動的に順番に受信し、信号があるチャンネルを探し出す操作です。

- 【スキャン(2波)】ボタンを短く押すと、プリセットチャンネルを自動的に順番に受信し、信号の入感するチャンネルを探し出します。チャンネル表示の右上に「プリセット」のアイコンが点灯し、ディスプレイ左下に「スキャン」のアイコンが点滅します。
- スキャン操作を止めるには、【クリア(ストロボ)】ボタンを押します。「プリセット」のアイコンと「スキャン」のアイコンが消えて通常の運用方法に戻ります。



プライオリティー・スキャン機能

- スキャンが動作しているときに【スキャン(2波)】ボタンを長押しすると、下図に示すように、あらかじめ設定された“優先チャンネル”（プライオリティーチャンネル:お買い上げ時は“CH16”）を間に挟んで、プリセットチャンネルを順番に受信していきます。
- もう一度【スキャン(2波)】ボタンを長押しすると、通常のスキャン動作(プリセットチャンネルだけを順番に受信する動作)に戻ります。



メモ

- プライオリティー・スキャン中に【クリア(ストロボ)】ボタンを押してスキャン操作を止めると、次にスキャン操作を始めたときはプライオリティー・スキャンから始まります。
- “優先チャンネル”を変更することができます。詳しくは次ページの「優先チャンネルの変更方法」をご覧ください。

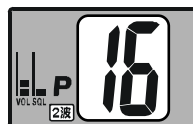
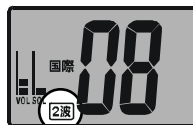
その他の機能と操作

2波受信

あらかじめ設定された“優先チャンネル”（お買い上げ時は“CH16”）と現在表示しているチャンネルを交互に受信することができます。

2波受信のしかた

1. 【スキャン(2波)】ボタンを押し続けると、現在表示してあるチャンネルと“優先チャンネル”（お買い上げ時は“CH16”）を交互に受信します。チャンネル表示の左下に「2波」のアイコンが点滅します。
2. “優先チャンネル”に信号が入ると、その信号を受信し続けます。このとき、チャンネル表示は点滅します。
3. “優先チャンネル”の信号がなくなると、再び2つのチャンネルを交互に受信します。



2波受信を止めるには、【クリア(ストロボ)】ボタンを押します。

「P」のアイコンと「2波」のアイコンが消えて通常の運用方法に戻ります。

優先チャンネルの変更方法

優先チャンネルは、緊急連絡用チャンネル“CH16”のほかに、プリセットチャンネルの中から1つを選ぶことができます。

【16/9】ボタンを押しながら【H/L(On)】ボタンを押すと、【H/L(On)】ボタンを押すたびに、緊急連絡用チャンネル“CH16”とプリセットチャンネルが順番に呼び出されますので、“優先チャンネル”にしたいチャンネルを呼び出します。

チャンネル表示の左に「P」のアイコンが点灯します。



その他の機能と操作

ランプ/ストロボ機能

LEDランプを白色高輝度で点灯させて、照明ランプとして使用できます。

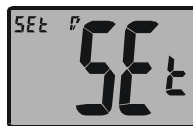
1. **【クリア(ストロボ)】**ボタンを長押しします。
LEDランプが白色高輝度で点灯します。
2. もう一度**【クリア(ストロボ)】**ボタンを長押しすると、消灯します。

メモ

- 照明ランプを使用中に他局(船舶局/海岸局)からの信号を受信すると、LEDランプは緑色の点灯に変わります。
また、**【送信(PTT)】**ボタンを押している間(送信中)は赤く点灯します。
- LEDランプの動作を「ランプ動作」から「ストロボ動作」(SOSのモールス符号(… — — …))で点滅)に変更することができます。詳しくは20ページの「セットメニュー操作(SOSの項目)」をご覧ください。

温度計の使いかた

1. **【電源】**ボタンを押し続け、一度無線機の電源を切ります。
2. **【スケルチ調節】**ボタンを押しながら**【電源】**ボタンを長押し、無線機の電源を入れます。
ディスプレイにセットメニューが表示されます。
3. **【スケルチ調節】**ボタンを3回押して、セットメニューの「03 (dSP)」を呼び出します。
4. **【▼】/【▲】**ボタンを押して、設定を「Unit°C」に変更します。
5. **【送信(PTT)】**ボタンを押すと一度電源が切れ、再び電源が入り、ディスプレイの左上に温度を表示します。



温度表示を止めるときは、上記の操作を繰り返し、操作4.で「OFF」を選択します。

ご注意

- 送信中や送信直後など、無線機本体の温度が高いときは、正しい温度を表示しない場合があります。
- 正しい温度を表示するには、数分掛かります。水温を計る場合には、無線機本体前面にある温度センサーを十分水中に浸して計ってください。

その他の機能と操作

トーンコントロール機能

エンジンの近くなど、騒音の激しい場所では、トーンコントロール回路により低音をカットすることで、聞きやすくすることができます。

1. **【電源】** ボタンを押し続け、一度無線機の電源を切ります。
2. **【スケッチ調節】** ボタンを押しながら**【電源】** ボタンを長押し、無線機の電源を入れます。
ディスプレイにセットメニューが表示されます。
3. **【スケッチ調節】** ボタンを2回押して、セットメニューの「02 (PC)」を呼び出します。
4. **【▼】/【▲】** ボタンを押して、設定を「on」に変更します。
5. **【送信 (PTT)】** ボタンを押すと一度電源が切れ、再び電源が入り、低音がカットされた受信音になります。



通常の受信音に戻すには、上記の操作を繰り返し、操作 4. で「off」を選択します。






セットメニュー操作

本機には、12種類のセットメニューがあります。各メニューの設定を変更するときには、次の手順で行います。

1. **【電源】**ボタンを長押しし、一度無線機の電源を切ります。
2. **【スケッチ調節】**ボタンを押しながら**【電源】**ボタンを長押しし、無線機の電源を入れます。ディスプレイにセットメニューが表示されます。
3. **【スケッチ調節】**ボタンを押すたびにセットメニューが切り替わりますので、設定を変更したいセットメニューを選びます。
4. **【▼】/【▲】**ボタンを押して、設定を変更します。
5. 続けて他のセットメニューを変更する場合は、操作3と4を繰り返します。
6. セットメニューを終了するには、**【送信(PTT)】**ボタンを押します。一度電源が切れ、再び電源が入ります。

| ディスプレイの表示 | 機能 | 選択項目 (太字が初期値) |
|---|---|--------------------------------|
|  | ビーブ音のON/OFF操作 ボタンを押したときなどに鳴る「確認音」を“ON/OFF”することができます。 | on / off |
|  | 受信音の音質を切り替えることができます。 騒音の激しい場所で使用する場合は、設定を“ON”にすると聞きやすくなります。 | on / off |
|  | ディスプレイに表示する情報を選択します。 Unit°C: センサーで感知した現在の温度を摂氏(°C)で表示します。 Unit°F: センサーで感知した現在の温度を華氏(°F)で表示します。 V: 電池の電圧を表示します。 off: 何も表示しません。 | Unit °C / Unit °F / V / off |
|  | 温度表示を補正します。 本機の温度計が正確な温度計と同じ値になるように調整します。 | - 9.9 ~ 0.0 ~ 9.9 |
|  | 照明ランプの動作を切り替えます。 kEY: ボタンを押すと照明ランプが5秒間点灯します。 照明ランプが点灯しているときに 【ライト】 ボタンを押すと、直ちに照明ランプは消灯します。 Cnt: 電源“ON”時、照明ランプが点灯した状態で電源が入ります。 【ライト】 ボタンで照明ランプを“ON/OFF”することができます。 off: 電源“ON”時、照明ランプが消灯した状態で電源が入ります。 | kEY / Cnt / off |
|  | 照明ランプの明るさを調節します。 | 00 / 01 / 02 / 03 |
|  | スキャンが止まったときに、照明ランプを点灯させることができます。 | on / off |

セットメニュー操作

| ディスプレイの表示 | 機能 | 選択項目 (太字が初期値) |
|---|--|---|
| 08  | <p>スキャン動作時のチャンネル表示方法を選択します。</p> <p>nor: スキャン動作中、受信しているチャンネルの切り替えに合わせてチャンネル表示も切り替わります。</p> <p>SPL: スキャン動作中、受信しているチャンネルが切り替わってもチャンネル表示は変化せず、スキャンを始めたときのチャンネルを表示し続けます。</p> | <p>nor (Normal) / SPL (Special)</p> |
| 09  | <p>2波受信の動作を選択します。</p> <p>d: あらかじめ設定しておいた“優先チャンネル”と現在表示しているチャンネルの「2波」を交互に受信します。</p> <p>t: 呼び出し用チャンネル“CH09”と緊急連絡用チャンネル“CH16”, さらに現在表示しているチャンネルの「3波」を順番に受信します。</p> | <p>d (Dual Watch) / t (Triple Watch)</p> |
| 10  | <p>2波受信時のチャンネル表示方法を選択します。</p> <p>nor: 2波受信時、受信しているチャンネルの切り替えに合わせてチャンネル表示も切り替わります。</p> <p>SPL: 2波受信時、受信しているチャンネルが切り替わってもチャンネル表示は変化せず、2波受信を始めたときのチャンネルを表示し続けます。</p> | <p>nor (Normal) / SPL (Special)</p> |
| 11  | <p>信号を受信した時に緑色に点灯するLEDランプの動作を“ON/OFF”することができます。</p> | <p>on / off</p> |
| 12  | <p>ランプ/ストロボ機能の動作を選択します。</p> <p>SoS: LEDランプがSOSのモールス符号 (... --- ...) で点滅します。</p> <p>Cnt: LEDランプが連続点灯します。</p> | <p>SoS / Cnt</p> |

付属品・オプション

付属品

- **HX751J** 無線機本体
- **CAT460** ラバーアンテナ
- **FNB-V99LI** リチウムイオン電池/パック(7.4 V, 1150 mAh)
- **CD-39** 充電スタンド
- **NC-88A** 充電用ACアダプター
- **E-DC-19A** シガーライタープラグ付き外部電源アダプター
- **CLIP-19** ベルトクリップ
- ボトムカバー (マントブルー仕様のみ)
- 取扱説明書
- 保証書

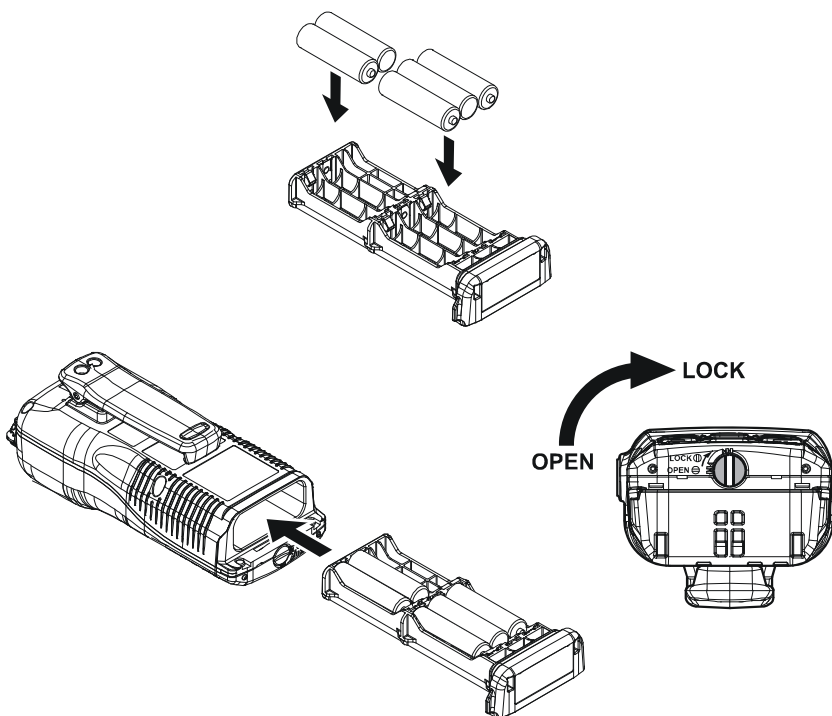
オプション

- MH-73A4B** スピーカーマイクロホン
- FNB-V99LI** リチウムイオン電池/パック (7.4 V, 1150 mAh)
- FBA-38** 乾電池ケース
- E-DC-19A** シガーライタープラグ付き外部電源アダプター

乾電池ケース (FBA-38)

オプションの乾電池ケース「FBA-38」を使用すると、単4型アルカリ電池(5本)で本機を運用することができます。

1. 下図を参考に、乾電池ケース「FBA-38」に単4型アルカリ電池(5本)を挿入します。
2. 付属の電池パック「FNB-V99LI」を取り付けるときと同じ要領で、乾電池ケース「FBA-38」を無線機底面の電池パック取り付け穴に差し込みます。
3. 無線機底面にあるロックツマミをコイン等を利用して右回りで「LOCK」の位置までまわして取り付け終了です。



メモ

乾電池ケース「FBA-38」を使用したときの、本機の最大送信電力は“約5W”です。

定格

一般定格

| | |
|---------------|---|
| 周波数範囲: | 156.025 MHz ~ 162.000 MHz (詳細は次ページを参照してください) |
| 周波数ステップ: | 25 kHz |
| 周波数安定度: | ±10 ppm (−20 °C ~ +60 °C) |
| 電波型式: | F3E |
| アンテナ・インピーダンス: | 50 Ω |
| 電源電圧: | DC 7.4V DC, マイナス接地 |
| 消費電流: | 280 mA (受信最大音量時) 50 mA (受信無信号時) 10 mA (スタンバイ, 受信セーブ“ON”) 1.5 A / 1.3 A / 1.0 A / 0.7 A (送信時: 5 W / 4 W / 2.5W / 1W) |
| 電池持続時間: | 約9時間(送信5, 受信5, 待ち受け90の繰り返し) |
| 使用温度範囲: | −20 °C ~ +60 °C |
| 温度計計測範囲: | −10 °C ~ +60 °C |
| 本体寸法(突起物を除く): | 62 x 141.5 x 41 mm (幅 x 高さ x 奥行) |
| 本体重量: | 約305 g (アンテナ, 電池パック, ベルトクランプを含む) |

送信部

| | |
|-----------------|--------------------------------------|
| 送信出力: | 5 W / 4 W / 2.5 W / 1 W (電源電圧7.4 V時) |
| 変調方式: | バリエابل・リアクタンス変調 |
| 最大周波数偏移: | ±5 kHz |
| 不要輻射強度: | −75 dBc |
| マイクロホン・インピーダンス: | 2 kΩ |

受信部

| | |
|-------------|---|
| 受信方式: | ダブルコンバージョン・スーパーヘテロダイン |
| 中間周波数: | 第一: 47.25 MHz, 第二: 450 kHz |
| 受信感度: | 0.25 μV (12 dB SINAD) |
| 選択度: | 12 kHz / 25 kHz (−6 dB / −60 dB) |
| 近接チャンネル選択度: | 約70 dB |
| 相互変調歪: | 約70 dB |
| S/N比: | 約40 dB |
| 低周波出力: | 700 mW @16 Ω for 10 % THD (電源電圧7.4V, 内部スピーカー使用時) |

チャンネル表

| チャンネル | 送信周波数 (MHz) | 受信周波数 (MHz) | 備考 | チャンネル | 送信周波数 (MHz) | 受信周波数 (MHz) | 備考 |
|-------|-------------|-------------|-----------------|-------|-------------|-------------|----------------------|
| 01 | 156.050 | 160.650 | | 60 | 156.025 | 160.625 | |
| 02 | 156.100 | 160.700 | | 61 | 156.075 | 160.675 | |
| 03 | 156.150 | 160.750 | | 62 | 156.125 | 160.725 | |
| 04 | 156.200 | 160.800 | | 63 | 156.175 | 160.775 | |
| 05 | 156.250 | 160.850 | | 64 | 156.225 | 160.825 | |
| 06 | 156.300 | 156.300 | すべての船舶相互間用 | 65 | 156.275 | 160.875 | |
| 07 | 156.350 | 160.950 | | 66 | 156.325 | 160.925 | |
| 08 | 156.400 | 156.400 | すべての船舶相互間用 | 67 | 156.375 | 156.375 | |
| 09 | 156.450 | 156.450 | 遭難・緊急・安全・一般呼出用* | 68 | 156.425 | 156.425 | |
| 10 | 156.500 | 156.500 | すべての船舶相互間用 | 69 | 156.475 | 156.475 | 小型船舶間同士用 |
| 11 | 156.550 | 156.550 | 海上保安庁等の海岸局用 | 70 | — | 156.525 | DSC専用 |
| 12 | 156.600 | 156.600 | 海上保安庁等の海岸局用 | 71 | 156.575 | 156.575 | 所属海岸局用 |
| 13 | 156.650 | 156.650 | 船舶相互間・海上保安庁海岸局* | 72 | 156.625 | 156.625 | 小型船舶間同士用 |
| 14 | 156.700 | 156.700 | 海上保安庁等の海岸局用 | 73 | 156.675 | 156.675 | 小型船舶間同士用 |
| 15 | 156.750 | 156.750 | | 74 | 156.725 | 156.725 | 所属海岸局用 |
| 16 | 156.800 | 156.800 | 遭難・緊急・安全・一般呼出用* | 75 | 156.775 | 156.775 | |
| 17 | 156.850 | 156.850 | | 76 | 156.825 | 156.825 | |
| 18 | 156.900 | 161.500 | | 77 | 156.875 | 156.875 | 小型船舶同士・所属海岸局との呼出・応答用 |
| 19 | 156.950 | 161.550 | | 78 | 156.925 | 161.525 | |
| 20 | 157.000 | 161.600 | | 79 | 156.975 | 161.575 | 所属海岸局用 |
| 21 | 157.050 | 161.650 | | 80 | 157.025 | 161.625 | |
| 22 | 157.100 | 161.700 | | 81 | 157.075 | 161.675 | |
| 23 | 157.150 | 161.750 | | 82 | 157.125 | 161.725 | |
| 24 | 157.200 | 161.800 | | 83 | 157.175 | 161.775 | |
| 25 | 157.250 | 161.850 | | 84 | 157.225 | 161.825 | |
| 26 | 157.300 | 161.900 | | 85 | 157.275 | 161.875 | |
| 27 | 157.350 | 161.950 | | 86 | 157.325 | 161.925 | |
| 28 | 157.400 | 162.000 | | 87 | 157.375 | 157.375 | |
| — | — | — | — | 88 | 157.425 | 157.425 | |

※チャンネル“09”は、チャンネル“16”が使用中の場合に使用します。
免許状に記されたチャンネルで運用してください。

STANDARD HORIZON

Nothing takes to water like Standard Horizon

©2017 八重洲無線株式会社
無断転載・複写を禁ず

八重洲無線株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川 2-5-8 天王洲パークサイドビル



E M 0 3 2 N 0 0 3